

助動詞 can

1. can ってなに？

「can」は「～できる」という意味を付け加える言葉です。

動詞（動作）を助ける役割をするので、「助動詞（じょどうし）」と呼ばれます。

【基本公式】

主語 + can + 動詞の原形

使い方は簡単。主語と動詞の間に「can」を挟むだけです。

- I swim. (私は泳ぎます)

↓

- I can swim. (私は泳ぐことができます)

2. 【超重要】 can の鉄の錠

can を使うときに絶対に守らなければならないルールが 1 つだけあります。

can の後ろは、絶対に「動詞の原形（もとの形）」にする！

「三单現の s」や「ing」などはすべて取っ払って、きれいな形にします。

- He plays tennis. (彼はテニスをします)

↓ canを入れると…

He can play tennis.

(× He can plays... s は消える！)

「can（助動詞）は最強なので、後ろの動詞を強制的に原形に戻す力がある」と覚えましょう。主語が He でも She でも関係ありません。

3. 否定文（～できません）

「～できない」と言うときは、can の後ろに not をつけます。

【否定の公式】

主語 + can't (cannot) + 動詞の原形

- I cannot run fast. (私は速く走れません)
- He can't speak English. (彼は英語を話せません)

※ cannot はつなげて 1 語で書くことが多いです。短縮形の can't もよく使われます。

4. 疑問文（～できますか？）

質問するときは、can を先頭に持ってきます。

be 動詞のときのルール（Are you...?）と似ていますね。

【疑問の公式】

Can + 主語 + 動詞の原形 ~ ?

- Can you play the piano? （あなたはピアノを弾けますか？）

- Yes, I can. （はい、弾けます）

- No, I can't. （いいえ、弾けません）

ここでも、Do や Does は使いません。Can で聞かれたら、Can で答えます。

5. 「できる」以外の使い方（会話で重要！）

can は「能力（できる）」以外にも、会話でよく使う便利な意味があります。

① お願いする（～してくれますか？）

相手に何かを頼むとき、疑問文の形を使います。

- Can you open the door? （ドアを開けてくれますか？）

- Sure. （いいですよ）

- All right. （いいですよ）

- Sorry, I can't. （ごめんなさい、できません）

② 許可をもらう（～してもいいですか？）

自分が何かをしていいか聞くとき、「Can I (キャナイ) ...?」を使います。

- Can I use your pen? （あなたのペンを使ってもいいですか？）

- Sure. Go ahead. （いいよ、どうぞ）